

2023 年度技術者交流サロン（現場見学会） 東京電力福島第一原子力発電所廃炉作業現場 &環境省中間貯蔵施設 開催報告

土木学会東北支部共催で技術者交流サロン（現場見学会）を開催し、大会としては4年ぶり2回目の「東京電力福島第一原子力発電所廃炉作業現場」を見学しました。また、2日目は、大会主催で「建設系技術者交流会」と「東日本大震災・原子力災害伝承館」「中間貯蔵施設」の施設見学を行いました。さらに、参加団体（土木学会東北支部、あおり女性建設技術者ネットワーク会議、ふくしま建女会、建女ひばり会）との交流として、懇親会、交流会を行いました。

■ 開催概要

- 開催日：2024年2月22日（木）、2月23日（金・祝）
- 場所：東京電力福島第一原子力発電所廃炉作業現場 他
- 参加人数：22日：39名（正会員21名（※うちふくしま建女会1名、建女ひばり会1名）、土木学会7名、あおり女性建設技術者ネットワーク会議1名、その他社会人8名、その他学生2名）
23日：27名（正会員19名（※うちふくしま建女会1名、建女ひばり会1名）、土木学会5名、あおり女性建設技術者ネットワーク会議1名、その他社会人2名）

●内 容：

土木学会東北支部、大会東日本支部主催

2月22日（木）

12:00 施設見学「東京電力福島第一原子力発電所廃炉作業現場、廃炉資料館」

大会東日本支部主催、土木学会東北支部共催

17:00 講演会「ふくしまの今を語る人（福島県事業）」@Jヴィレッジ

18:00 懇親会@Jヴィレッジ

2月23日（金・祝）

08:30 講演会「震災から学ぶ in Jヴィレッジ」@Jヴィレッジ

10:00 建設系技術者交流会 @双葉町産業交流センター

12:10 施設見学「東日本大震災・原子力災害伝承館」

13:30 施設見学「中間貯蔵施設」

■ 当日の状況

2月22日（木）土木学会東北支部、当会東日本支部主催

① 施設見学「福島第一原子力発電所（以下、1F）廃炉作業現場、廃炉資料館」

仙台からは土木学会東北支部手配のバスで、関東からは JR 線で廃炉資料館（福島県富岡町）に集合し、廃炉資料館で東京電力の土木アテンドの方 2 名に 1F の概要、現在の廃炉作業の進捗、ALPS 処理水等をご説明いただきました。その後、バスで国道 6 号を北上し 1F 構内に入構しました。1F 構内では、ALPS 処理水貯蔵タンク群を通過し、水素爆発を起こした原子炉建屋から約 100 m の位置にある高台で建屋を見下ろしながら現在の廃炉作業をご説明いただきました。現在は、マスクやタイベック等の装備無く視察が可能です。また、多核種除去設備の外観や ALPS 処理水の海洋放出を担うシールドトンネルの施工モニュメント等を視察しました。



写真 1 廃炉資料館での講義、1F 視察の様子

2月22日（木）当会東日本支部主催、土木学会東北支部共催

② 講演会「ふくしまの今を語る人（福島県事業）」 @J ヴィレッジ

宿泊は、4 年前と同じく震災時には復興拠点となった J ヴィレッジ（榎葉町）でした。

福島県では、福島県の農林水産関係者等が、食と放射能に関して、消費者が不正確な情報や思い込みに惑わされることなく、自らの判断で食品の選択ができるよう「ふくしまの今を語る人」として、放射性物質低減の取組や検査の状況、生産者の思い等を説明・紹介する講演会を開催しています。J ヴィレッジに県の講演会担当の方がお越しになり、水産業の復興に向けた取り組みについて漁業者の方からお話を伺いました。講演会では、請戸漁港（浪江町）の被災から放射線による風評被害から復興、ALPS 処理水の風評被害は今のところ出ていない等のご説明があり、最後にお土産もいただきました。



写真 2 講演会の様子、お土産と資料

③ 懇親会 @J ヴィレッジ

参加者と1F視察をアテンドいただいた東京電力の2名を交えて、懇親会を行いました。くじ引きによる席配置を行ったため、自己紹介や共通点探しゲームを行い懇親を深めました。会の途中では、参加団体による挨拶として土木学会東北支部、あおり女性建設技術者ネットワーク会議、ふくしま建女会、建女ひばり会の各代表者に団体紹介、視察の感想等をお話いただきました。

2時間の懇親会は盛会のうちに幕を締め、売店で福島県の日本酒を求め、二次会へ……。



写真 3 懇親会後の集合写真

2月23日（金・祝） 当会東日本支部主催、土木学会東北支部共催

④ 講演会「震災から学ぶinJ ヴィレッジ」 @J ヴィレッジ

震災時に原発事故の収束拠点となったJ ヴィレッジについて、J ヴィレッジの職員の方から、施設開業から震災時の状況、そして営業再開までの軌跡を広大なピッチを眺めながら説明いただきました。



写真 4 J ヴィレッジの軌跡を聞く様子

⑤ 建設系技術者交流会 @双葉町産業交流センター

参加団体の活動紹介と参加者からの話題提供として、1Fや中間貯蔵施設、廃棄物処理に従事する会員から講演頂きました。東北地区で活動している団体同士がお互いの活動を知り、今後にも繋がるきっかけとなったと思います。また福島県で1F事故関連業務に携わる会員の講演は、頼もしくもあり、より身近に感じられる内容でお話いただきました。

交流会次第

1.参加団体の活動紹介

(一社)土木技術者女性の会 東日本支部	沼田 直子さん
あおもり女性建設技術者ネットワーク会議	野村 笑美さん
ふくしま建女会	渡部 智子さん

2.参加者からの話題提供

事故後の福島県の現状と環境回復の取り組み	北原 正代さん
中間貯蔵施設工事業務紹介	森 清恵さん
廃棄物処理について	井上 由美さん



写真 5 交流会の様子



図 1 参加団体の活動紹介（表紙）

※参加者からの話題提供は交流会限りの講演内容のため資料添付は割愛します。

⑥ 施設見学「東日本大震災・原子力災害伝承館（双葉町）」

福島で起きた地震、津波、東京電力福島第一原発事故という未曾有の複合災害の実態や、復興に向けた歩みの展示を見学しました。



写真 6 東日本大震災・原子力災害伝承館と見学の様子

⑦ 施設見学「中間貯蔵施設（大熊町、双葉町）」

除染により発生した土壌等を最終処分するまでの間、安全かつ集中的に貯蔵するための施設である中間貯蔵施設を見学しました。中間貯蔵工事センターで施設の概要を説明いただいたのち、バスで帰還困難区域である土壌貯蔵施設を回りました。帰還困難区域内は、震災時の状態のままの住宅、学校、老人ホーム等も見られ13年間とかが止まったままの景色は言葉を失いました。渋谷区と同じ面積で高く盛られた土壌貯蔵施設の上に立ち、盛土の下には震災前には1F事故により土地を離れなくてはいけなくなった住民の生活があったこと、除去土壌は30年後には福島県外で受け入れてもらう必要があること、除去土壌縮減のための取り組み等を説明いただきました。



写真 7 中間貯蔵施設見学の様子

■ 参加者の感想

① 施設見学「福島第一原子力発電所（以下、1F）廃炉作業現場、廃炉資料館」

- ・1-4号機前のデッキからの見学は、テレビ等の報道で見ていたものが目の前にあるという迫力が大きく、廃炉作業を自分ごとに考えるきっかけになった。
- ・社会的に大変なマイナスをもたらした事故の処理ということで、現場で働かれている皆さんのモチベーションなどを勝手に心配していましたが、少なくとも、ご説明いただいた方は、大変な気概をもって働いておられることを知ることができただけでも、来てよかったと思いました。

② 講演会「ふくしまの今を語る人（福島県事業）」 @J ヴィレッジ

- ・水産業に従事されている方の生の声が聞けて良かったです。福島海産物、農産物、これからますます、おいしくいただきます。

③ 懇親会 @J ヴィレッジ

- ・くじ引きのテーブル決めなど、顔見知りがないなかでの参加だったのでありがたかったです。二次会もオープンな雰囲気に参加しやすく、楽しい時間を過ごせました。

・もう少し色々な人と話せる時間が欲しかった。

④ 講演会「震災から学ぶinJ ヴィレッジ」 @J ヴィレッジ

・宿泊施設としてどのような貢献をされてきたのかを知れた。東電さんが寄贈された施設ということを知り、原発事故は問題だがもともとこれだけ社会貢献していた会社だということが知れた。

⑤ 建設系技術者交流会 @双葉町産業交流センター

・女性の会が各地にあり驚きました。皆さん勢力的に活動されており本業の傍ら女性活躍推進の為に尽力なさっている姿に感銘を受けました。

・各団体が魅力ある建設業のために取り組んでいることを知って素晴らしいと思った。話題提供では、皆さん、仕事内容だけでなく、仕事を通じて感じていることなどを話してくれたので、自分事としてとらえられた。とても良かったです。

⑥ 施設見学「東日本大震災・原子力災害伝承館（双葉町）」

・展示内容の濃さに驚きました。また、多くの来館者があることにも、正直驚きました。こうやって、震災のこと原子力災害のことを、後世に引き継ぐ取組みをされていることを素晴らしいと思いました。

⑦ 施設見学「中間貯蔵施設（大熊町、双葉町）」

・あんなに沢山見かけた黒のトンパックがどこに行ったんだろうと思ってた謎が解けました。また、30年後に向けての動きも注視しなければ、という思いがうまれました。

・地域住民の方の理解があって出来ている事だということと、除去土壌の再生利用については、建設業従事者としてもっと関心をもっていかなければと思った。

⑧ 全体をとおして

・密度の濃い、質の高い内容がたくさんあり、本当に勉強になりました。何より皆が安心して過ごせる空気を作ってくださったことが本当によかったと思います。

・内容が盛りだくさんで、時間管理が大変だったと思うが、色々見られて良かった。

・1ヶ所をもう少し時間をとって見学できたらいいなと思います。

報告：屋代瑞希（東日本支部）